RF1ベルギー風チコリと フライドポテトのサラダ	RF1 ロシア風ポテトサラダ	RF1チュニジア風 チキンと夏野菜のサラ ダ	PECKパンチェッタとク ルトン・ゆで卵のサラダ
ゴルゴンゾーラマヨネーズ付き。値段に対して、ボリューム感がなくいまいち。W杯期間限定品なので、やむを得ず!?2002.6.2	タラゴン(香草)がアクセントになったポテトのサラダ。かなりクセがある味でオイシイとは言いにくい。2002.6.5	バーベキューソース付き。 地中海で食べられる夏野 菜とクスクス、ヒヨコ豆、レ ンズ豆を加えたサラダ。ひ と味変わった味と食感は、 意外とやみつきに。 2002.6.13	イタリアンシーザードレッシング付き。PECKのドレッシングの美味しさが引き立つサラダ。バゲットを使ったクルトンがアクセントに。2002.6.5
400円/100g	240円/100g	380円/100g	1個 600円
チコリ、レタス、フライドポ テト、トマト、ベーコン	じゃがいも、にんじん、海 老、グリンピース、タラゴン	ズッキーニ、ピーマン、に んじん、コーン、ジャガイ モ、かぼちゃ、鶏肉、クス クス、ヒヨコ豆、レンズ豆	レタス、サラダ菜、トレビ ス、ルッコラ、パンチェッ タ、クルトン、ゆで玉子

## W杯 対戦国を食べる!?

RF1では、W杯対戦国の郷土料理をアレンジしたメニューを展開。5/31~6/14期間限定、対戦日にあわせる形になってい

6/4 VS ベルギー	ーベルギーといえばワッフルが有名だが、フリッツ(フライドポテト)がよく食べられ、マヨネーズをつけるのが主流。ムール貝を使った料理も多い。		
	ベルギー風ムール貝のクリームコロッケ	  1個/¥120	
	ベルギー風チコリとフライドポテトのサラダ ゴルゴンゾーラマヨネーズ付き(写真)	l'¥400∕100g I	
6/9 VS ロシア	広大な領土を持つロシアだけに、さまざまな食文化がある。ウクライナ地方のボルシ		
The state of the s	- 広人な頃工を持っロングに行こ、さまさまな良文化がある。ワクライブ地方のポルシーチ、山岳民族のシャスリック(串焼き)、ザカフカス料理のロールキャベツ等。じゃがいしもが多く食べられている。		
	ロシア風ピロシキコロッケ	I I1個/¥120	
Carlo Carlo	ロシア風ポテトサラダ(写真)	  ¥240/100g	
6 ∕ 4 VS チュニジア	地中海料理と北アフリカ料理の影響を受け、トマトや魚介類、オリーブオイル、ガーリック、ハリッサ(唐辛子を使ったスパイス)がよく使われる。主食に、クスクスもよく食べられている。		
	チュニジア風クスクスコロッケ・タバスコ風味	I └1個/¥120 I	
( A )	チュニジア風チキンと夏野菜のサラダ バーベキューソース付き(写真)	I ∣¥380∕100g I	

## ドレッシングの美味しさが光るディッシュサラダ!

「ドレッシングで、夏を元気に」という今夏のコンセプトのPECK。イタリアン、ジェノベーゼ、シーザードレッシングの3種類が新登場、それだけでなくドレッシングの美味しさを引き立てるこだわりのディッシュサラダも登場している。まろやかな甘みのある「イタリアンドレッシング」には、「トマトとモッツァレラのサラダ仕立て」、バジルの香りがいっぱいの「イタリアンジェノベーゼドレッシング」 は、「鶏肉とケッパーのサラダ」、パルミジャーノレジャーノを使ったクリーミーでマイルドな「イタリアンシーザードレッシング」は、 「パンチェッタとクルトン・ゆで卵のサラダ」というように。 このドレッシングはサラダだけでなく、パスタやパンにからめてもGOOD、本格的イタリアンに早がわり!上質なオリーブオイルを

使った、PECKのこだわりドレッシングはさすが美味である。



パンチェッタとクルトン・ゆで卵のサラダ (イタリアンシーザードレッシング付き) 1個 600円

バゲットをクルトンに使って、ボリュームUP!具材の種類は少なめ だが、ドレッシングにはピッタリ。

## センスの良い味!大丸心斎橋ジューススタンド

デパ地下にはつきもののジューススタンド。しかし意外にカフェ顔負けのセンスをもつスタンドもある。 大丸心斎橋B1F、階段横にあるジューススタンド「パパジ」はなかなかGOOD!阪神百貨店のジューススタンドが「新鮮なフルーツそのもののおいしさ」なら、この「パパジ」は、「センスの良いオシャレな味」か。「小松菜パイン」、「アボガド入り冷やし抹茶」、「ベリーベリーパイン」、「ストロベリーラズベリーパイン」等、フルーツのアレンジや組み合わせ方にセンスを感じるものばかり。価格は、¥200〜380。ジュースの効用も記載してあり、その日の気分や体調に合わせて選びたくなる。平日・休日にかかわらず、どの時間帯でもにぎわっているジューススタンド。ほんのつかの間でも、幸せを感じることのできるスペースである。